

会 議 録

会 議 名	令和 4 年度第 2 回野田市障がい者基本計画推進協議会
議題及び議題毎の 公開又は非公開の 別	1 第 4 次野田市障がい者基本計画について【公開】 2 第 7 期野田市障がい福祉計画、第 3 期野田市障がい児福祉 計画について【公開】
日 時	令和 5 年 1 月 24 日（火） 午後 2 時 30 分から午後 3 時 35 分まで
場 所	野田市役所 8 階 大会議室
出 席 委 員	会長 小林 幸男、青木 和美、赤塚 仁、上木 昭、加藤 満 子、香山 啓、熊沢 英也、小暮 正男、鈴木 千穂、鈴木 良 造、高峰 啓三、中村 義光、幡野 喜志子、前堀 由佳、増 田 雅樹、松岡 巖、村田 弘信
欠 席 委 員	副会長 谷口 勲、清本 健二郎、小林 修
事 務 局 等	小林 智彦（福祉部長）、伊原 誠宏（障がい者支援課長）、 原田 陽子（障がい者支援課長補佐兼計画係長）、山崎 優（障 がい者支援課相談支援係長）、佐田 徹（障がい者支援課障が い者福祉係長）、日下 水樹（障がい者支援課計画係主査）、 山崎 淳美（障がい者支援課主任主事）、内田 遥香（障がい 者支援課主事）
傍 聴 者	1 人
議 事	令和 4 年度第 2 回野田市障がい者基本計画推進協議会の会議結 果（概要）は、次のとおりである。
障がい者支援課長補佐 福祉部長 障がい者支援課長 障がい者支援課長補佐 小林 幸男会長 手話通訳者 小林 幸男会長	【開会】 令和 5 年 1 月 24 日午後 2 時 30 分開会。 事務局から新型コロナウイルス感染症対策を説明後、配布資 料の確認を実施する。 会議録作成のため録音機を使用することで了承を得る。 民生委員児童委員の一斉改選に伴う、協議会委員の変更につ いて説明する。 障がい者福祉手当の過支給について、経過を説明する。 障がい者福祉手当の過支給について、現在の対応状況を説明 する。 協議会設置要綱第 6 条の規定により議長には会長が当たると されているため、以降の進行を小林会長へお願いする。 手話の普及促進のため、手話学習を実施する。 寒い、暑い、晴れ、くもり、雨及び雪の手話を紹介する。 会議の成立について、20 人の委員中 17 人の委員が出席し半 数以上の出席があることから、協議会設置条例第 6 条第 2 項の 規定により、本会議の成立を報告する。 会議の公開について、個人情報等の不開示情報を取り扱うこ

小林 幸男会長 障がい者支援課長 小林 幸男会長 加藤 満子委員	とがないことから、原則公開とする。 傍聴希望者が1人いるため、入室を許可する。 【議題1 第4次野田市障がい者基本計画について】 議題1について、事務局から説明を求める。 ＜資料に沿って説明＞ 事務局の説明について、質問又は意見はあるか。 障害者基本計画（第4次）8（5）福祉的就労の底上げについて、障害者基本計画（第5次）（案）9（5）のように、一般就労が困難な障がい者に対する支援とする方が内容の幅が広がると思う。第4次野田市障がい者基本計画を策定するとき、表記の仕方を考慮してほしい。
障がい者支援課長	第4次野田市障がい者基本計画の策定に当たって、国の計画に構成や内容を合わせることを基本とし、あわせて、関係者の意見等も考慮する。先ほどの加藤委員の意見も参考にしたい。
鈴木 千穂委員	障がいのある人の就労に関連して、法定雇用率が引き上げられるときに、市はどのように市内の企業へ周知するか。
障がい者支援課長	周知の方法についてこの場ですぐに回答できない。障がい者雇用に関する取組について、関係部署である商工労政課とも協議の上、取り組みたいと考えている。
鈴木 千穂委員	令和5年度の法定雇用率引上げに当たって、市の取組を進めてほしい。
福祉部長	企業へ例を示すという意味合いも含めて、市では障がい者雇用室を設置し、障がいのある人を雇用している。 このような例も含めて、企業や商工会議所等も含めて広く障がいのある人が一般就労に結び付くような取組を進めていきたいと考えている。
鈴木 良造委員	防災対策について、災害が発生したとき、障がいのある人及び家族がどこへ避難すればよいか、市が示してほしい。
障がい者支援課長	福祉避難所をできる限り多く設置するなど、検討を継続しているので御理解いただきたい。
加藤 満子委員	現在、市が協定を結んでいる福祉避難所のうち、2施設が浸水想定区域内に位置しており、洪水が発生したときに避難できない。市は、方向性を早く決定してほしい。
上木 昭委員	令和4年5月に障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律が施行された。
福祉部長	障がいのある人に対する情報保障について、現行の計画より踏み込んだ計画を策定してほしい。 市は、令和2年4月に野田市手話言語条例を施行し、令和3年4月に野田市障がいのある人の円滑な意思疎通に関する条例を施行した。 条例の施行と併せて、会議等において、ヒアリンググループ又は音声表示システムなど、障がいのある人へ配慮した情報提供を行っている。また、市報にみんなで支えるバリアフリーを定期的に掲載し、市民一人一人が相手の立場に立って行動するよ

	うに周知している。
加藤 満子委員	第4次野田市障がい者基本計画の策定に当たって、国の施策を反映させることは当然であるが、市内障がい者団体へヒアリングを行って出た意見を計画へ反映させたいと考えている。加えて、委員が意見を提案することも可能であるので、計画策定の参考にしたい。
障がい者支援課長	乳がん検診について、障がいのある人の中には、マンモグラフィ検査よりエコー検査の方が検査を受けやすい人がある。現在、エコー検査が受けられる対象年齢は30歳代女性となっているが、重い障がいのある人に対しては対象年齢を上げてほしい。
鈴木 良造委員	保健センターと協議したい。
障がい者支援課長	医療的ケアが必要な人が利用できる施設が少ない。原因は、看護師の不足と感じている。市は、人材育成のような取組を進めてほしい。
加藤 満子委員	令和4年度は、野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会における医療的ケア児者支援部会を開催している。その専門部会に施設代表者が属しているので、その協力を得ながら、医療的ケア児者に対する支援における課題を把握しているところである。鈴木委員の意見について、その専門部会の中で協議したい。
福祉部長	こぶし園について伺う。 地域共生社会の実現に向けて取り組む上で、市はこぶし園の在り方をどのように考えているか。
中村 義光委員	時代の変化とともに、公設公営の生活介護事業所が求められる役割が変化していると思うので、市が障がいのある人に対する支援を検討することと併せて、施設の在り方も検討したい。
障がい者支援課長	精神障がいのある人の家族に対する支援について、障がいのある人の家族が抱え込まないように適切な支援が受けられる取組を検討してほしい。
小林 幸男会長	障がいのある人の家族に対する支援について、例えばピアサポートが挙げられると思う。国の障害者基本計画（第5次）（案）において、ピアサポートの推進に向けた取組が書かれており、第4次野田市障がい者基本計画へ反映させることが想定される。上木委員の意見と同様に、計画策定の参考にしたい。
小林 幸男会長	質問及び意見がないため、事務局は今回の報告及び質問並びに意見等を勘案し、第4次野田市障がい者基本計画の策定を進めていただきたい。
障がい者支援課長	【議題2 第7期野田市障がい福祉計画、第3期野田市障がい児福祉計画について】
小林 幸男会長	議題2について、事務局から説明を求める。
小林 幸男会長	＜資料に沿って説明＞
小林 幸男会長	事務局の説明について、質問又は意見はあるか。
小林 幸男会長	－質問及び意見無し－
小林 幸男会長	質問及び意見がないため、事務局は今回の報告等を勘案し、

障がい者支援課長補佐 小林 幸男会長	第 7 期野田市障がい福祉計画、第 3 期野田市障がい児福祉計画の策定を進めていただきたい。 本日の議事は以上であるが、事務局から連絡等はあるか。 今年度の本協議会は本日が最後となる。委員各位に対し、協議会出席について感謝申し上げます。 午後 3 時 35 分閉会
----------------------------------	--